



和(輪)のまちだより

発行	2021年(令和3年)1月1日
発行責任者	第四地区住民自治協議会 会長
印刷	有限会社 長野プリントサービス

2020.12.01 現在 第四地区現況 ()前年比 世帯数/令和2年度世帯数調査による
世帯数/2,475戸(108.3%) 人口/2,748人(99.1%) 人口/長野市企画課統計資料による

☆第四地区は「諏訪町」「西後町」「県町」「南県町」「妻科」「新田町」の6町で構成されています☆

謹賀
新年

本年も地域住民の皆さまの
お役に立てるよう

精一杯頑張りますので
ご理解とご協力を賜りますよう
心よりお願い申し上げます



第四地区住民自治協議会
評議委員一同

第四地区住民自治協議会
会長 横田 悦二郎 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスが世界中を襲い、全ての人達に大きな弊害を与えました。このウイルスは、人間生活を維持するために必要な様々なモノを攻撃しましたが、最もターゲットとして狙われたのは、地域住民や親子の関係に至るまで、私たちにとって大切な“人と人との繋がり”でした。そのため、私たちの活動の中心であった「人と人を繋ぐためのイベント」を中止せざるを得ませんでした。結果的にみると、私達はウイルスの攻撃に負け続けてしまったことになりました。

しかし最近になりウイルスからの攻撃を防御できるワクチンが開発され、投与が始まりました。今年から私たちもその恩恵に預かれるようになり、いよいよ負け続けてきた戦いから勝利に向かう道が見え始めてきました。

今回のウイルスは私たちに“人と人との繋がり”の大切さを再認識させてくれました。今年には昨年度できなかった住民同士の“繋がり”を強くする目的の様々な活動を行ないたいと考えています。

本年も引き続き、宜しくお願い申し上げます。

裾花川マレットゴルフ場借り受け申請 県からの認可下りる!!



本紙既報の、裾花川河川敷のマレットゴルフコース造成計画は、紆余曲折があったものの、長野県に申請を上げ、11月10日、無事に認可が下りました。昨年の春先から夏にかけて、膨大な書類整備等を進め、何回も、県から書類訂正などの指導を受けながら漸く許可が下りました。申請や説明のために何回となく関係各所を駆けずり回った宮崎妻科区長、安芸MG愛好会会長の並々ならない労苦に対して感謝申し上げます。

気候が良くなる今春から、マレットゴルフコースの造成を開始する予定です。この作業は、地域の方の絶大なご協力がなければ、到底できるものではありません。皆さまのご協力を頂きながら地域に憩いの場を造りましょう。

新型コロナウイルスの影響で、ほとんどの事業が中止されている中、地区内の安全確保と環境保全のために、安全部会と環境部会合同で去る10月7日、パトロールを実施しました。

マレットゴルフコースの造成計画場所、地域の人のコミュニティにもなりつつあるボタジェガーデン、裾花川が氾濫する場所として仮定した長野保健福祉事務所前等の視察をした後、南県町の県町通りのゴミ集積場に向かいました。

なんと、そこには、右の写真の、プラゴミ用の袋に空き缶、空き瓶、ペットボトル等入れてはならないゴミを無造作に入れた袋が2袋廃棄されていました。通りがかりの人が捨てて行ったものかもしれませんが、あまりの非常識さに部会員も唖然とするのみでした。ごみ処理場に見学に行くと、プラゴミ袋の中身を一つずつ選別し、プラゴミ以外のものをていねいに排除する係員の姿を見ることができます。

このような非常識なゴミ出しは、多くの人の手を煩わせるばかりか、ゴミを出した人の心もすさんでいくと思わざるを得ません。他人を思いやる気持ちを持って、気持ち良く生活したいものです。

安全・環境パトロール を実施しました



上/パトロールをする部会員

左/心ない人が出したとみられるプラゴミ用袋

ペットボトル

空き缶

空き瓶

第四地区住民自治協議会は平成21年4月に設立され、それ以降、地域の皆さまのために活動が続けてきました。しかしながら残念なことに、この組織を知っているという方は、多く見ても20%に届きません。世の中が移り変わり、専業主婦、3世代家族、子どもの数などが激減し、昼間家にいる方が少なくなり、地域への愛着と近所付き合いが減少してきているということが要因だと思われれます。端的に言えば、地域との繋がりを持たなくても何の不自由もなく生活できると思っている方が、圧倒的多数になってきたということなのです。

しかし、本紙前号に掲載した裾花川の氾濫など、予期せぬ自然災害が発生した時など、自分自身や家族の力だけでは(自助)どうにもならない事態も起こり得ます。

住民自治協議会 って何なの？

そんな時、力になるのが近隣の方向士の助け合い(共助)です。

日頃からのお付き合いがあれば、いざという時に、力になってもらえ、或いは力になることがスムーズにいくはず。住民自治協議会は、「近隣の方々の繋がりを強くして頂く橋渡し」になり、「居心地の良い地区」、「共助の街」を目指します。

今の3倍近い人口を抱えていた50年以上も前の、活気に満ち溢れ、多くの人が行き交っていた地区に戻すことは無理かもしれませんが、他地区から羨望の眼差しで見られる、住みたい地域、憧れの地域であり続けるために、第四地区住民自治協議会は活動して参りますので、皆さまのご協力をお願い申し上げます。

新型コロナウイルス 感染させない！感染しない！

昨年初めに、世界中に新型コロナウイルスが蔓延し始め、日本でも、長野県、長野市でも数多くの感染者の発生が続いています。

このウイルスに対するワクチンや確かな治療薬が今日現在、開発されていないため、多くの人が不安を感じています。

12月10日現在、新型コロナウイルスの感染者数は全国で約17万人、亡くなった方は、約2千5百人、長野県では、感染者が9百人弱、亡くなった方は6名です。

あくまでも確率の上ですが、第四地区全住民2千数百人中、たった一人の方が感染し、亡くなる方は約33万人（長野市の人口とほぼ同数）に1人という僅かなものなのです。

一方、かつてからあるインフルエンザや、交通事故で亡くなる方は、毎

年、全国で3千人を超えています。

新型コロナウイルス感染者がマスクをして飛沫を飛ばしている1mの至近距離で非感染者が対峙した場面をシミュレートした実験では、対峙した人



適切な予防措置



マスク着用と手指の消毒、3密回避

百年前のスペイン風邪が世界的に大流行した際も、日本人は「マスク」と「うがい」でこれに立ち向

うことができました。一部の識者は、「マスクはワクチンだ」とも言っているほどです。

新しい必要以上に恐れることなく、適切な予防措置（マスク着用と手指の消毒、3密回避）を採っていれば、かなりの確率で感染させない、感染しないことができるのです。

結果もあります。ですから、新型コロナウイルスを必要以上に恐れることなく、適切な予防措置（マスク着用と手指の消毒、3密回避）を採っていれば、かなりの確率で感染させない、感染しないことができるのです。

がマスクを着用していると、70%以上のウイルスを遮断したという実験結果もあります。

かい、流行から2年を経て、多くの人に自然に免疫ができ、収束したと言われています。

その時代に比べれば、現在の医学、科学の発展は目覚ましいものがあります。近々にワクチン、特効薬もできるはずですが、それまでの間、マスク着用と手指の消毒、3密回避でしのぐほかはありません。

第四地区住民自治協議会では、コロナ禍の影響で、予定していた事業が軒並み中止され、予算に多少の余裕ができました。このため、新型コロナウイルスから身を守り、感染しない、させないために**第四地区の全世帯にマスク10枚入り**を1袋ずつお配りし、皆さまのために予算を有効に利用すること致しました。

このマスクを有効にお使い頂いて、コロナ禍が去るのをじっと待ちましょう。

その時代に比べれば、現在の医学、科学の発展は目覚ましいものがあります。近々にワクチン、特効薬もできるはずですが、それまでの間、マスク着用と手指の消毒、3密回避でしのぐほかはありません。

第四地区住民自治協議会では、コロナ禍の影響で、予定していた事業が軒並み中止され、予算に多少の余裕ができました。このため、新型コロナウイルスから身を守り、感染しない、させないために**第四地区の全世帯にマスク10枚入り**を1袋ずつお配りし、皆さまのために予算を有効に利用すること致しました。

このマスクを有効にお使い頂いて、コロナ禍が去るのをじっと待ちましょう。

その時代に比べれば、現在の医学、科学の発展は目覚ましいものがあります。近々にワクチン、特効薬もできるはずですが、それまでの間、マスク着用と手指の消毒、3密回避でしのぐほかはありません。

第四地区全てのお宅に マスクをお配りします



不織布3層構造の使い捨てマスク10枚入り1袋を12月中旬以降、準備ができ次第、地区内の学生寮の寮生を含めて、全てのご家庭にポスト投函等によってお配り致します。

(既に配布済みの世帯もあります)